



## Future begins with engineers and JSPE

ホーム  
Home

JSPEについて  
About JSPE

技術倫理  
Ethics

イベントカレンダー  
Events

刊行物  
Publications

[最新情報Home](#)

### 第14回Engineers' Salon

開催日：2004年7月14日

場所：JSPE神谷町事務所

時間：午後7時～9時

出席者：坂井、小林、住田、オズグル、岡、鹿野、神野（記）合計7名

打合せ内容

#### 1. 第1部“CPD”

継続教育について、日本の学会である、ターボ機会協会や機械学会、技術士、計測自動制御学会などが積極的に制度作りを行っている。

取得ポイント制度では、参加学習、情報提供（論文、講演など）、実務経験、自己学習のカテゴリーに分けて、各カテゴリーを配分良く取得する事を推奨している。

CPD登録簿に関して技術士会では電子記録を行っている。

一方、JSPEではオレゴン州の規則（The Oregon Administrative Rules 820-010-0635）に基づき、各自の責任で実施する事としている。JSPEはCPDに関しては日本の学協会の模範となるべき立場にあり、CPDセミナー開催に留まらず、会員PEの自主学習などのCPD取得に対する指導をすべきである。

以下参加者からの意見

1. 受講時間などを記録するCPD記録シートのサイン欄は日本では講演主催者であるが、米国流では自己申告であり自分がサインをすべきである。

自己申告は文化の問題であり、日本では中々育たない。

2. 米国の規則は自己申告に寛容であり、岡さんはFE試験を受けておらず、FEと同等の能力がある事を証明して了解を得た。

3. JSPEの会員でPE更新時、CPDの確認をオレゴンよりされたケースがある。そのPEは大学で講座を受講しており、大学より証明書をもらって手続きを行った。

4. エンジニアリングサロンもCPDとしてカウントすべきである。

#### 2. 第2部“フリーディスカッション”

##### 1. 自主学習について

Nature、ニュートン、Scienceなどを読んでも自己学習になる。

JSPEの会員はグローバルな活動を目指しており英語の勉強もCPDとしてカウントするべきだ。

今井先生はPEは英語で話をすべきだと話されていた。

トルコでは中学0年生から英語での授業となる。

##### 2. 地方会員へのサービス

名古屋の佐藤さんは支部を作るのに積極的である。

エンジニアズサロンを各地域で実施するべきだ。

##### 3. インターネットによる講習

CPDセミナーをJSPEとして行っているが、地方の会員へのサービスが不十分である問題が議論された。

本件に対して参加者の岡さんがインターネットでの講演システムを提案していただいた。

本システムでは、講演者の音声、カメラ映像およびパワーポイントでのプレゼンテーション資料がインターネットで受信できる。

本件については、理事会に提案する事とした。

文責 神野  
次回  
9月15日 (水)

[2004年07月14日\(水\)23時38分](#) [この記事のURL](#) [Event](#) [admin](#)

Script : [Web Diary Professional](#)

(C) 2003-2013 The Japan Society of Professional Engineers/All Right Reserved. E-mail: [webmaster@jspe.org](mailto:webmaster@jspe.org)